

作者コメント(黒田)

陶器のミニお雛様を添えて春の花を描きました。春の空気感が背景に感じられれば嬉しいのですが、どうでしょうか。
桃の花はもっと実物より大きく描いたほうが花の存在感が出たのかも知れません。

喜田コメント

大変よく描けています。意図した背景の春の空気感はとてもよく出ています。机との境界を朦朧体で表現したことも効果があったと思います。タイトルの「お内裏さま」がどこにいるのか探るのが大変でした。お雛様の存在感を表現したい。構図の問題です。
肉厚の陶器の壺の重量感が良く出ています、壺の下辺が見えたほうが良いのではないかな。

作者コメント(岡田)

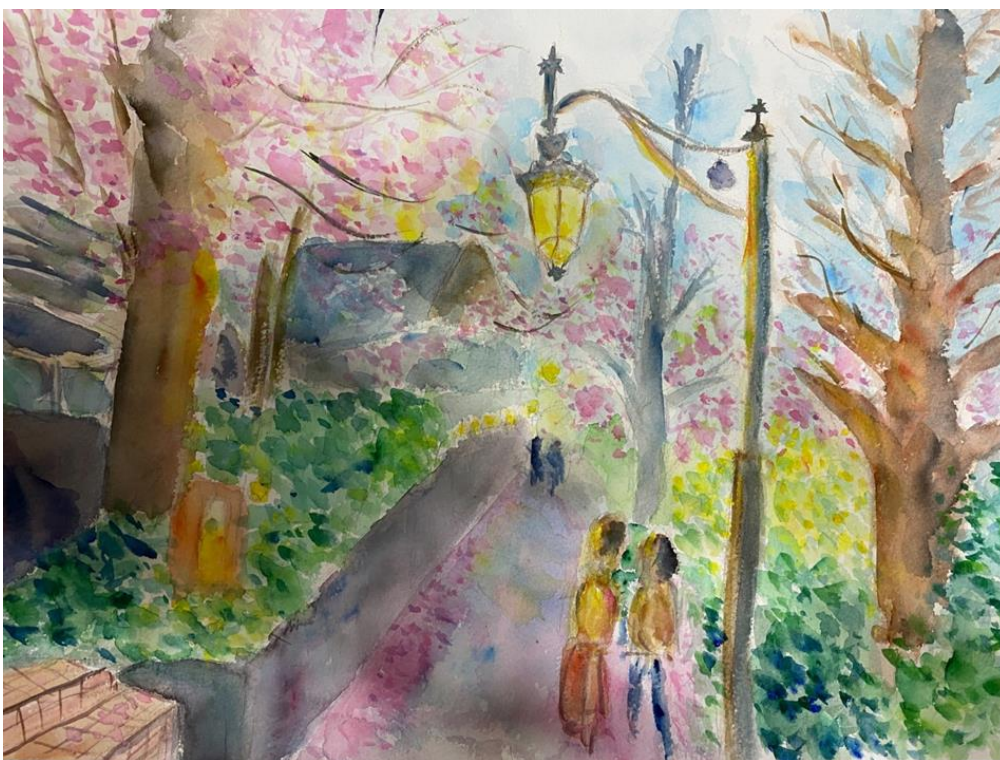
黄昏時の国立の夢のような世界を表現しようと思いました。遠近感がでていれば良いのですがいかがでしょうか。



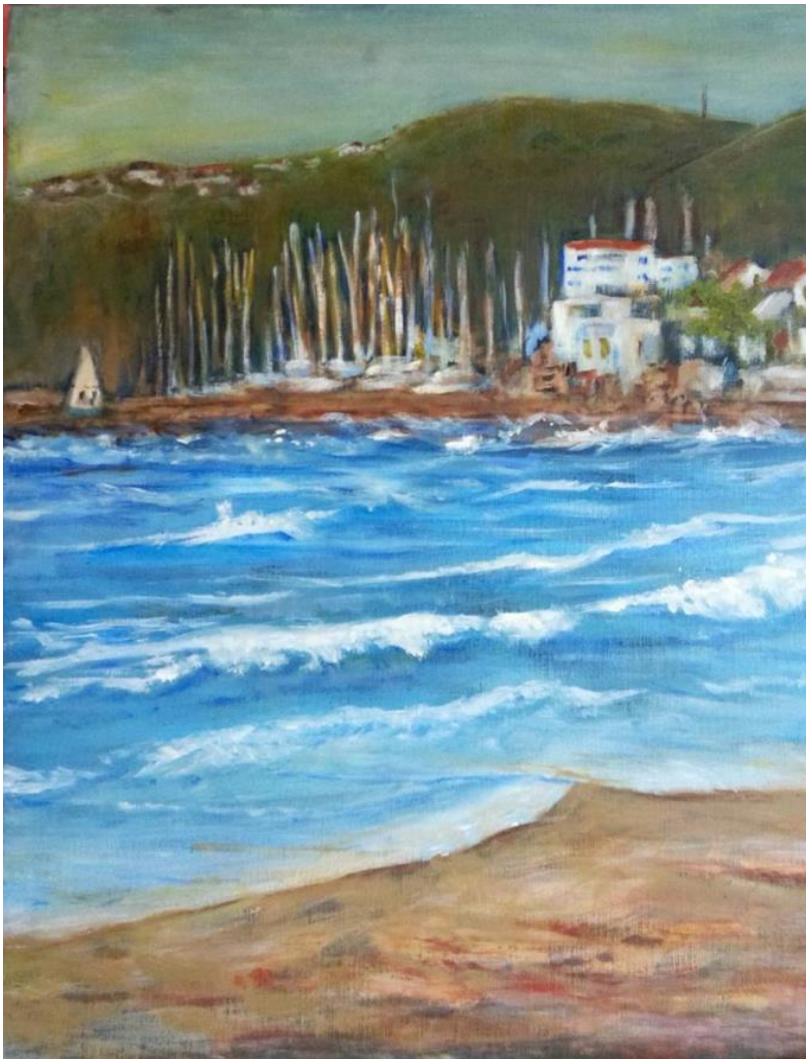
黒田重雄 「春の花とお内裏さま」 F4 (水彩)

喜田コメント

岡田さんの個性が発揮された大変面白い作品です。空と周辺部をもっと暗くして、黄色のガス灯の明かりをもっと滲み出させて、「夜」の雰囲気を出したら、「国立の黄昏の夢のような世界」が広がるでしょう。この絵の主役は、桜花・ガス灯・2人の人物です。
一筆一筆に作者の思いがこもっていて素晴らしいと思います。



岡田理子 「桜と街灯のある風景～国立」 F6 (水彩)



遠矢慶子「森戸海岸から葉山マリーナを見る」F6(パステル)

作者コメント(遠矢)

波を描くのが難しかった。

喜田コメント

森戸漁港から葉山マリーナの方を海越しに見た風景ですね。

遠矢さんは画面の切り出し方がとても上手だと感心しました。押し寄せる波の表情と遠方に見えるヨットのマスト群・洒落た家並みの調和が秀逸です。

構図的には、「空・山・マリーナとマンション群・海と波・手前の砂浜」と画面が横方向に5分割されています。マスト以外に縦の要素がもう一つ欲しい気がします。パステルでこのような表現が出来るのがすごいと思います。

作者コメント(筒井)

純白で八重の大輪椿「袖隠(そでかくし)」、名前の由来は、あまりに花が美しいので、袖に隠して盗み出した、という意味から来ているそうです。

今年も見事に咲きました。



筒井隆一「白椿・袖隠(そでかくし)」F4(水彩)

喜田コメント

純白の「袖隠」という椿の花が、可愛い声で「自己主張」をしています。とても可憐です。赤と青で幾何学的に2等分した背景が「純白の自己主張」を支えています。非常にユニークで魅力的な作品だと思います。

作者コメント(月川)

一本の枝にピンクの桜の花を枝にそって 6 枚貼るだけのものでしたが、気にいらないので、1 枚だけ残して、あとは消して貼り直しました。

二つ、三つの花をくっつけて立体感のある桜の花を、作りたいのですが、それが出来なくて一枚ずつのペタ貼りになり悔しいです。新聞紙には白がないので、お懐紙を使いました。

喜田コメント

坂本冬美の演歌「夜桜お七」の歌詞「さくらさくら花吹雪 抱いて抱かれた二十歳の夢の後 朧月夜の夜桜お七～」が思い出される妖艶な作品です。朧月夜の霞んだ風情と、はらはらと散る桜花の調子が素晴らしい。改善点があるとすれば、桜の枝の形を直線から婉曲に、桜花の花芯をもっと丁寧に、くらいでしょうか。



月川りき江「夜桜」色紙(24x27)(ちぎり絵)

作者コメント(若林)

市ヶ谷駅から飯田橋駅に向かって外堀(神田川)沿いの桜並木と法大のポアソナールタワーを書きました。桜の描写には、太い幹と沢山の小枝を意識しました。

喜田コメント

若林さん腕を上げましたね。桜花をこんなに上手に描ける人いませんよ。先に延びる道・散歩人・ガス灯・遠くのタワー、構成要素が沢山あって楽しい。



若林哲史「ポワソナールタワーを望む桜並木」F6(水彩)

作者コメント(竹前)

自宅近くの青山公園の桜です。青空いっぱい広がった桜を表現すべく試みました。

喜田コメント

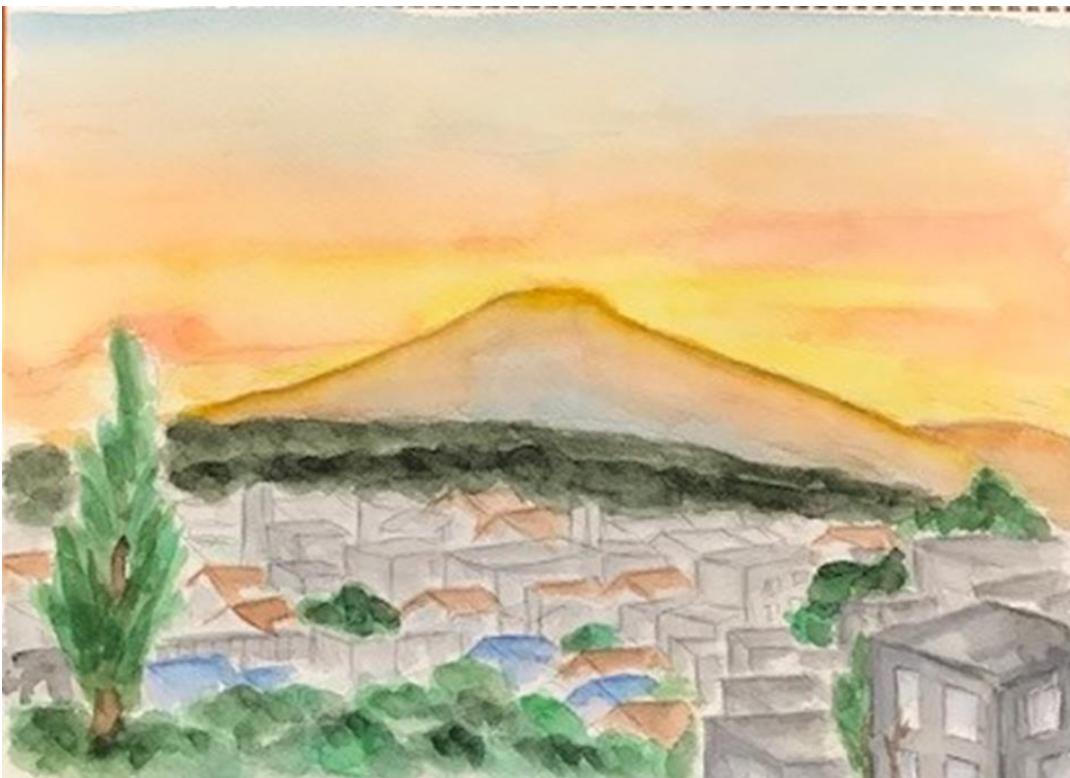
「真っ青な空を背景に広がる1本の満開の桜」これを描きたかった、という作者の叫びが聞こえます。桜の花の塊を思い切ってもっと強く描いたら感動がもっと伝わると思う。



竹前義博「青山公園の桜」F6（水彩）

喜田コメント

「夕焼けを背景にした富士山」が自宅のロビーから見えるなんて、とても羨ましい。夕焼け空がとてもよく描けています。主人公の「富士山」をもっと強く、気持ちを込めて描きたいです。富士山の形や高さも少し強調して描きましょう。遠くの山や森・眼下に広がる家々や木立などはだんだん暗くして、家の窓に明かりを入れても良いですね。



武智康子「マンションから見た赤富士」F4（水彩）

作者コメント(武智)

3月25日の夕方、自宅マンションの8階のロビーから夕日に映える富士山を見ました。あまりに美しかったので、写真に収めました。今回、その写真を見て描きました。しかし遠景なのでとても難しかったです。西向きで撮ったので、夕日の空は、何とか感じが出せたかと思いますが、遠景の富士山と近景のたくさんの家、それに目の前のビルとの対比が難しいです。

作者コメント(井上)



井上清彦「多摩森林科学園の桜」F6（水彩）

奥行きのある景色を求めて、新緑の始まった丘陵地をハイキングしました。背景に山を入れたり、ところどころ遊びました。

喜田コメント

井上さんの感動がよく絵に表れています。色彩もとても多様で感心しました。グランマモーゼスとは表現手法が違いますが、彼女に通じる遊び心と純粹さが魅力です。



喜田祐三「東京競馬場駅前風景」はがきサイズ(色鉛筆)

作者コメント(喜田)

私の散歩道にある風景です。ここには、週末になると大勢の競馬ファンが詰めかけます。今はコロナのために競馬場は閑散としています。いつも散歩しながら題材を求めて色鉛筆でスケッチします。桜が咲く2週間前のスケッチです。